



三田喜章展

# 森のオアシス

2022.7.6 (Wed) - 7.18 (Mon)

■アクセス■

- ・東武伊勢崎線足利市駅徒歩 12分・JR 両毛線足利駅徒歩 8分
- ・北関東自動車道足利 IC より 15分  
(駐車場 3台・近隣にも無料駐車場あり)
- 11:00~18:00 (最終日は 16:00 まで)  
月・火曜休廊 (月・火が祭日の場合は営業し、翌日休)
- 軽食とソフトドリンクもお楽しみいただけます。



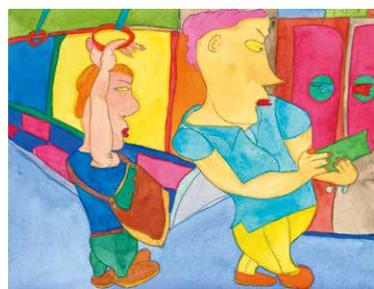
artspace & café

〒326-0814 栃木県足利市通2丁目 2658

Tel : 0284-82-9172

E-Mail : info@artspace-and-cafe.com

URL : <http://artspace-and-cafe-ashikaga.com/>



私は 1948 年足利市に生まれました。帝京大学法学部を卒業したと思ったら、フラメンコギタリストが出来上がってしまいました。28 歳の時スペインに武者修行。楽しく過ごして帰国後、突然左の薬指が動かなくなる…ジストニアです。リハビリ中、妻に画材をもらい絵の面白さにハマり、友達に勧められるままに 1980 年、ニューヨークに行ったのです。直ぐに貯金は底をつき、妻がベビーシッターの仕事を探して来てくれました。その子供が河原温（世界的なコンセプチュアルアーティスト）の子供。そのうち温さんの仕事の手伝いも頼まれるようになりました。温さんはいろいろな事を教えてくれました。世界のアートの流れ、ニューヨークでの作家デビューの仕方、英語、お金、永住権のうち、2 つがあれば可能性があること。私は次に来るウエーブを読みながら 100 号くらいの絵を 50 枚ほど描きました。温さんが家に来て「この絵は俺の趣味では無いけど、ニューヨークでやっていけるよ。」と言ってくれました。ちょうどその頃イーストビレッジで新しいアートの動きが始まり、そこに小さな画廊が沢山できて、私は個展、グループ展を毎月数カ所でやってきました。永住権も取れ『アートインアメリカ』『フラッシュアート』などの美術雑誌にも小さく載り始めました。子供もでき楽しく生活していたのですが、治安が非常に悪いニューヨーク、結局家族の安全の為にリッチアンドフェイマスの夢を捨て 1986 年に帰国。ヒルサイドギャラリー（現在のアートフロントギャラリー）で北川フラム氏の企画で個展をやってもらいました。とてもすばらしい展覧会でした。でも結局その後会社勤めをする。温さんの言葉「三田さんね、アートは続けることだよ」。それを胸に描く事は続けていましたが、その後画廊とは疎遠に…。65 歳をすぎ家族からも解放されて足利に着地。現在、山の麓に古民家を手に入れ彫刻や絵を楽しみながら、野菜を作ったり 日本蜜蜂を飼ったりしています。今回はサラリーマンをやっていた頃の「電車の中を描いた絵」と、山の麓の自然を形にした「森のオアシス」を飾ります。

三田喜章（美術家）



artspace & café

〒326-0814 栃木県足利市通 2 丁目 2658

Tel : 0284-82-9172

E-Mail : info@artspace-and-cafe.com

URL : <http://artspace-and-cafe-ashikaga.com/>

